

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (03-04)

団体名	(一社) さんぴいす	代表者名	代表理事 河口 紅
事業名	コロナ禍から考えるレジリエンス向上のためのプログラム開発事業		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月1日 ～2月28日 月1回程度	事務所	(2)	事業の進捗確認のための定例スタッフミーティング
7月14日	事務所	1 (2)	第1回実行委員会：ハイブリッド形式で開催 今年度の事業方針の説明、意見交換を行った。
8月26日	事務所	1 (2)	第2回実行委員会：ハイブリッド形式で開催 事業計画の見直しとプログラム開発の方向性についての意見交換を行った。前年度の定量調査結果をどのような形で見せていくかを話し合った。
9月7日	事務所	1 (2)	第3回実行委員会：ハイブリッド形式で開催 事業の進捗状況の報告、レジリエンスチェックテストの完成度を今年度はどのレベルまで作りこむかなどプログラムの詳細について意見交換した。
10月13日	事務所	1 (2)	第4回実行委員会：ハイブリッド形式で開催 事業の進捗状況の報告、プログラムの詳細について説明した後、意見交換を行った。
1月10日	事務所	1 (2)	第5回実行委員会：ハイブリッド形式で開催 事業の進捗状況の報告、2月開催のワークショップの実施方法、進め方などについて意見交換を行った。
2月27日	事務所	7 (2)	レジリエンスワークショップ+交流会の開催 当初の計画通り、オンラインでワークショップと交流会を開催した。 参加者募集の広報は、芦屋市男女共同参画団体への呼びかけ、FacebookなどのSNS、高浜町自治会役員への呼びかけ、過去のイベント参加者への呼びかけなどを実施した。その結果、 60代男性…1名 50代男性…2名 50代女性…2名 40代男性…1名 30代女性…1名 が参加した。 過去に行った地域住民対象の同じようなイベントでは参加はほぼ女性だけということが多かったのだが、今回は男性の参加が半数を超えたことは、これまで地域コミュニティとの接点を見出せなかった層に対して一定の効果があったと考えている。
9月～1月	事務所	1 (2)	レジリエンス診断テストのプログラミングおよびマニュアルの作成 5月～8月にかけては、法人内部で前年度の調査活動の分析などを行い、その結果をもとに統計の専門家とZOOM、メッセージャーなどを活用して分析を行った。同時並行でマニュアルの作成も行った。
2月	事務所		レジリエンスチェックテストページの公式オープン https://sanps.jp/re/

<効果と成果>

コロナウィルス感染が拡大している中、行動制限などで地域コミュニティの本来機能が難しくなったこともあり、多くの人にストレスや孤立感・精神的な不安感を与えていることから、この課題解決のために本事業を実施した。効果や成果としては、「レジリエンス診断テスト」を開発し、診断後の対応方法の参考となるマニュアルを作成するとともに、本テスト開発後の実証や広報も含めて、芦屋市高浜町自治会、NPO法人夢コネクトなどの協力も得て地域住民を対象とした交流の場（オンラインワークショップ）の機会を設けるなど、地域コミュニティ再生の一助として取りくめたと考えている。結果、まだまだテスト内容の改善点はあるが、レジリエンス力が低い人における回復のためのコミュニティ活動の有効性については、今回のワークショップからも少なからず傾向が見られたので、来年度も更なる追及をしていきたいと考えている。

<今後の展望>

2023年2月27日に開催したワークショップでは、参加者同士がレジリエンスチェックテストの結果をお互い共有しあうことで、初対面同士でも楽しくコミュニケーションがとれると気づかされた。この気づきにより、これまでの既存の地域住民向け交流イベントには無関心だった層にも、共感を得ることができて地域への興味関心を引き起こす効果があるのではないかと期待している。来年度はさらにこのテストの精度を高め、回復への方策を確立したいと考えているのと、成人だけでなく子どもや若年層を対象としたレジリエンスチェックテストに転用したいと考えている。子ども用のレジリエンスチェックテストを作成すれば、保護者も一緒に本事業へ参加すると予測できる。それによりさらに新たな地域ネットワークも生まれると期待している。地域の中で気軽にレジリエンスやメンタルに関して話し合えるためのツールとしてチェックテストやワークショップを提供したいと考えている。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	350,000
自己資金	132,391
合計	482,391

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接経費	人件費	280,000	250,000
	謝金	65,000	65,000
	委託費	5,425	5,000
	小 計	350,425	320,000
間接経費 (一般管理費)		131,966	30,000
合 計		482,391	350,000